

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		県単交通安全施設等整備事業		路河川名等	(一)相浜本町線		
事業毎の通番		1	市町村名	佐久市	箇所名(ふりがな)	小宮山(こみやま)	
事業概要	事業目的	本路線は国道141号に接続する地域の生活道路であり、佐久市泉小学校の通学路となっているが、歩道が設置されておらず、児童の通学に際し危険な状態となっている。このため、歩道設置を行うことにより、安全な歩行者空間の確保と交通事故の危険箇所の解消を図る。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり		事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律		
	関連する事業、計画等	H24通学路緊急合同点検 要対策箇所					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	自動車交通量 1,264台/日 自歩行交通量 82台・人/12h					
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	—	国庫	その他	県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	歩道工 L=240m W=2.0m			60,000		60,000
	年度事業内容(主な工種)	測量設計 一式			0		0
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩道利用者の安全確保、特に通学児童・生徒の交通事故の減少が期待される				
		間接的効果(定量的・定性的)	通行車両の交通事故抑制				
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量：計画交通量 1,264台/日 ○現況自転車歩行者交通量：現況交通量 82台・人/12h				評価	B
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：通学路安全対策(H24通学路緊急合同点検)				評価	B
	効率性	○事業期間：H27～H30 4年間				評価	B
	緊急性	○通学路対策：H24通学路緊急合同点検箇所 ○現況の歩道幅員：現況歩道なし				評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者を中心に周知 ○地域の取り組み：協力的である ○地域の合意形成：事業目的について合意形成が図られている				評価	B
	部意見	現況道路幅員が狭く、見通しもよくないため、通学児童が危険な状態となっている。安全な歩行者空間を確保するために、早期の歩道整備が必要である。	行政改革課意見	現況の交通量から必要性は認められる	評価結果	○	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

【整備の必要性がわかる状況写真等】

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は国道141号に接続する地域の生活道路であり、佐久市泉小学校の通学路となっているが、歩道が設置されておらず、児童の通学に際し危険な状態となっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	当該箇所は地元区からの要望があげられており、安全確保が望まれている。
③事業説明等の経緯	事業説明は未実施であるが、地元への説明を行う予定である。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	通学路安全対策(H24通学路緊急合同点検)
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	歩道整備により、生活環境に配慮した町づくりが行われる
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により、児童歩行者の安全確保、及び交通の円滑化が図られ、地域の活性化が期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 13' 47" 東経:E 138° 26' 32"